

考える、語り合う No.29

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和4年2月4日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

リモートでの委員会活動

現在、異学年の交流を止めています。学校でできる行動制限の一つです。

このような中で、2月2日(水)に初めて3年生が参加する委員会活動を実施しました。本校の良き伝統として、3学期には新しい委員会を編制して、6年生から5年生へのリーダーの引継ぎと、3年生が仕事を覚えて4月からスムーズに活動が進む準備期間としています。

3~6年が揃う第1回目は、次年度につながる顔合わせや役決め、活動計画立てであり、3月に延期せずともリモートで実施可能と判断しました。活動中に各教室、各リモートミーティングルームをのぞくと、6年生が経験をもとに活動を説明していたり、早く活動を始めたい3年生の気持ちが満たされたりする場面等が見られ、実施してよかったと思いました。教育ICT環境の充実を目指すGIGAスクール構想は、新型コロナウイルスの感染拡大によって「怪我の功名」的に実現されています。



学校 HP: リモート委員会 | 長崎市立川原小学校 (nagasaki-city.ed.jp)

2月の全校集会

2日には、リモートによる全校集会も実施しました。内容は、子ども県展入賞者の表彰と、校長講話でした。掲示された入賞作品を見ました。どれも構図のよさはあるのですが、それ以上にいい作品を仕上げようとする力(集中力や持続力、細部へのこだわり等)が感じられ、秀逸でした。以下が、入賞した子どもたちです。おめでとうございます。

<特選> 版画部門 4年 高●●●

<入選> 絵画部門 1年 松●●● 5年 浦●●● 桑●●● 田●●● 渡●●●

6年 北●●● 吉●●●

版画部門 4年 今●●● 大●●●

校長講話では、以下のスライドを使って振り返り(リフレクション)について話しました。

教科等の学習では、授業の終わりに「まとめ」として、「学習内容で押さえておくべきこと」を確認します。それと併せて、授業中や活動中に、自分がとった言動や、友達・教師からの言葉を聞いて感じた思い等を振り返って言語化してみることも、スライド2にあげたように、「人として

<p>「まず考える、つぎに語り合う」</p> <p>さいごに、振り返る</p>	<p>振り返りかえりは、なぜ大事なのか?</p> <p>自分のいいところ</p> <p>自分が気をつけること</p> <p>はっきりわかる</p> <p>人として生き方の学び</p>	<p>じゅぎょう・かつどうに さんかした おぼえている べきこと</p> <p>わたしは、何をしたのか?</p> <p>友だちは、何をしたのか?</p> <p>そのときの気持ちは?</p> <p>なぜ、そう感じたのか?</p> <p>つぎのじゅぎょう・かつどうにどのようにさんかするか?</p>
<p>「振り返りかえり」は、ことばにする</p> <p>ノートに書きとめる</p>		<p>振り返りかえりを 自分の生活の中に取り入れてくれるとうれしいです。</p> <p>お話を おわります。</p>

生き方の学び」であり大切だと伝えました。この学びをとどめておくためには、ノートに書き留めておくことよいとして、私が使っていた、また現在使っているノートを示し、中身を動画で見せました。振り返りを実践し、ノートに記録を取る子どもが出てきてくれると嬉しいです。(これは大人の皆様にもお勧めします。)